

# がん教育の充実に向けて

様々な学校で創意工夫あるがん教育が進められています。改めて、基本的な考え方や連携の例を以下のとおりお示しします。

## 学校におけるがん教育の基本的な考え方

がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育です。

## 学校におけるがん教育の目標

### 1 がんについて正しく理解することができるようにする。

がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心を持ち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気についても理解を深め健康の保持増進に資する。

【学習指導要領における位置付け】 ※ 具体例は「函館市におけるがん教育全体計画」を参照してください。  
主に小学校体育科（保健領域）、中学校保健体育科（保健分野）、高等学校保健体育科（科目保健）で扱われます。また、学校の実態に応じて、指導の充実を図る場合は、特別活動で取り扱うことも考えられます。

### 2 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。

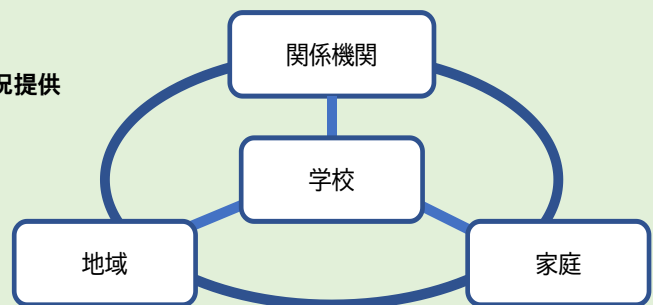
がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気づき、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。

【学習指導要領における位置付け】 ※ 具体例は「函館市におけるがん教育全体計画」を参照してください。  
授業のねらいに応じて、特別活動や道徳、総合的な学習の時間などにおいて取り扱うことが考えられます。

## 効果的な指導に向けて

### 連携（例）

- ・学校だより、保健だより等の活用および保護者懇談会等での状況提供
- ・授業参観の実施
- ・PTA 活動における講演会・研修会の実施
- ・CS の機能を生かした地域人材の活用
- ・外部講師の招聘による授業の実施



### 函館市内の外部講師連絡先

- ・市立函館病院 (☎43-2000)
- ・函館五稜郭病院 (☎51-2295)

「がん教育ご担当の方をお願いします。」とお尋ねください。

